



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 伊藤ハム株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	108,626	0.8	282	—	627	—	285	△86.4
23年3月期第1四半期	107,791	△1.6	△595	—	△766	—	2,103	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 280百万円 (△71.7%) 23年3月期第1四半期 991百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.18	1.18
23年3月期第1四半期	8.57	8.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	201,587	116,232	57.3
23年3月期	204,557	116,729	56.7

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 115,587百万円 23年3月期 116,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	222,000	△0.1	2,000	—	2,800	—	1,000	△57.9	4.15
通期	454,000	△0.4	6,000	141.8	7,300	90.8	4,000	735.4	16.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 宝永物産株式会社

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	247,482,533 株	23年3月期	247,482,533 株
24年3月期1Q	6,434,275 株	23年3月期	6,523,116 株
24年3月期1Q	240,990,841 株	23年3月期1Q	245,344,584 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レート、獣疫などの様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成24年3月期第1四半期	108,626	282	627	285	1.18
平成23年3月期第1四半期	107,791	△595	△766	2,103	8.57
増減率	0.8%	—%	—%	△86.4%	△86.2%

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～6月30日)のわが国経済は、東日本大震災後の大幅な落ち込みから徐々に回復しつつあるものの、経済活動の水準は、依然として生産・供給面を中心に震災前を下回っており、設備投資や個人消費等の需要面も弱い動きが続く中で、円高や電力不足の長期化といったリスク要因が顕在化するなど、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当業界におきましても、震災後の消費マインドは徐々に改善されつつありますが、原材料価格の高騰や食中毒事件等による食肉の販売環境の悪化など、当社事業を取り巻く状況は大変厳しいものとなっております。

このような状況の下、当社グループは、当期が初年度となる新中期経営計画「CNV2015」において、“アジアの中で最も信頼される食肉加工メーカーになる”という経営ビジョンのもと、「コンプライアンス体制の更なる充実」、「人材の育成」、「営業力、生産力をはじめとする現場力の強化」、「お客様目線での商品開発を伴うマーケティング力強化」、「コスト競争力の強化」を経営方針に掲げ、抜本的な構造改革の着実な実行により筋肉質の企業体質を築くと同時に、「CNV2015」に込めた新しい価値やサービスの創造を具現化する成長戦略を実行することによって、新たな業績目標の達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は、調理加工食品が不採算商品の撤退・縮小や惣菜子会社の売却の影響により大幅に減少しましたが、主力商品の拡販に注力したハム・ソーセージ及び鶏肉の販売が前期に引き続いて好調に推移した食肉が売上を伸ばした結果、全体としては前年同期より8億3千5百万円増加して1,086億2千6百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益面については、惣菜子会社の売却などにより売上総利益と販売費及び一般管理費が減少するとともに、構造改革の実行に伴うコスト削減効果により販売費及び一般管理費が大幅に減少した結果、営業利益は前年同期より8億7千7百万円増加して2億8千2百万円(前年同期は5億9千5百万円の損失)となりました。また、持分法による投資損失が縮小し営業外費用が減少した結果、経常利益は前年同期に比べて13億9千3百万円増加して6億2千7百万円(前年同期は7億6千6百万円の損失)となりました。四半期純利益については、前期特別利益に計上した土地の売却益がなくなった影響により、前年同期より18億1千8百万円減少して2億8千5百万円(前年同期比86.4%減)となりました。

報告セグメント別の内訳につきましては、加工食品事業本部は、外部売上高551億2千9百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益2億8千4百万円(前年同期は3億8千3百万円の損失)、食肉事業本部は、外部売上高533億6千3百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益2千9百万円の損失(前年同期は1億9千7百万円の損失)となりました。なお、当社(親会社)の本部及び間接部門に係る費用等の全社費用については、前連結会計年度まで各報告セグメントへ配賦していませんでしたが、経営管理の手法を見直した結果、当連結会計年度より各報告セグメントに配賦する方法に変更しております。これに伴い、前年同期のセグメント利益についても変更後の算定方法により組み替えております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて29億6千9百万円減少し、2,015億8千7百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少と季節要因による売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて24億7千2百万円減少し、853億5千4百万円となりました。これは主として、仕入債務の減少及び賞与引当金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億9千6百万円減少し、1,162億3千2百万円となりました。これは主として、配当金の支払による利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社の完全子会社かつ特定子会社である宝永物産株式会社は、平成23年6月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,027	13,332
受取手形及び売掛金	43,570	45,719
有価証券	—	13,549
商品及び製品	22,671	25,963
仕掛品	393	470
原材料及び貯蔵品	13,848	12,842
その他	4,425	5,644
貸倒引当金	△159	△152
流動資産合計	119,777	117,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,348	16,521
機械装置及び運搬具（純額）	12,510	12,355
工具、器具及び備品（純額）	678	680
土地	18,426	18,262
リース資産（純額）	1,437	1,388
建設仮勘定	484	686
有形固定資産合計	49,885	49,896
無形固定資産		
その他	1,330	1,261
無形固定資産合計	1,330	1,261
投資その他の資産		
投資有価証券	20,635	19,885
その他	13,752	14,050
貸倒引当金	△824	△875
投資その他の資産合計	33,563	33,060
固定資産合計	84,779	84,218
資産合計	204,557	201,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,021	40,389
短期借入金	947	1,140
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	822	366
賞与引当金	2,172	1,029
資産除去債務	4	17
その他	15,860	16,594
流動負債合計	61,828	69,537
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	10,992	11,045
退職給付引当金	142	264
債務保証損失引当金	375	375
資産除去債務	759	778
負ののれん	14	12
その他	3,714	3,340
固定負債合計	25,999	15,817
負債合計	87,827	85,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,042	30,047
利益剰余金	59,778	59,341
自己株式	△2,133	△2,104
株主資本合計	116,115	115,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,862	1,883
繰延ヘッジ損益	44	△34
為替換算調整勘定	△2,021	△1,973
その他の包括利益累計額合計	△114	△124
新株予約権	82	48
少数株主持分	646	597
純資産合計	116,729	116,232
負債純資産合計	204,557	201,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	107,791	108,626
売上原価	86,998	88,927
売上総利益	20,792	19,698
販売費及び一般管理費	21,388	19,416
営業利益又は営業損失 (△)	△595	282
営業外収益		
受取利息	32	29
受取配当金	160	152
負ののれん償却額	1	1
受取賃貸料	115	121
その他	198	266
営業外収益合計	508	571
営業外費用		
支払利息	149	68
不動産賃貸費用	60	53
持分法による投資損失	412	85
その他	57	17
営業外費用合計	679	226
経常利益又は経常損失 (△)	△766	627
特別利益		
固定資産売却益	3,581	0
投資有価証券売却益	—	78
災害による損失戻入額	—	188
その他	133	0
特別利益合計	3,715	268
特別損失		
固定資産売却損	0	141
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	535	—
事業構造改革費用	—	85
その他	86	100
特別損失合計	622	327
税金等調整前四半期純利益	2,326	567
法人税等	204	277
少数株主損益調整前四半期純利益	2,122	290
少数株主利益	18	4
四半期純利益	2,103	285

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,122	290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△846	21
繰延ヘッジ損益	△267	△79
為替換算調整勘定	2	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△43
その他の包括利益合計	△1,131	△9
四半期包括利益	991	280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	973	275
少数株主に係る四半期包括利益	17	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,235	51,383	107,619	172	107,791	—	107,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	647	21,229	21,877	575	22,452	△22,452	—
計	56,883	72,613	129,496	747	130,244	△22,452	107,791
セグメント利益 又は損失(△)	△ 383	△ 197	△ 580	67	△ 513	△ 82	△ 595

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 平成23年4月1日開始の連結会計年度より、セグメント利益の算定方法を変更したことに伴って、前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）のセグメント利益を変更後の算定方法による数値に組み替えて表示しております。これにより、従来の算定方法によった場合に比べて、加工食品事業本部において1,108百万円、食肉事業本部において324百万円それぞれセグメント利益が減少しております。算定方法の変更内容につきましては、「II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日） 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,129	53,363	108,493	133	108,626	—	108,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	625	16,544	17,170	417	17,587	△17,587	—
計	55,754	69,908	125,663	550	126,214	△17,587	108,626
セグメント利益 又は損失(△)	284	△ 29	254	110	365	△ 82	282

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当社（親会社）の本部及び間接部門に係る費用等の全社費用については、前連結会計年度まで各報告セグメントへの配賦を行っていませんでしたが、経営管理の手法を見直した結果、当連結会計年度より各報告セグメントへ配賦する方法に変更しております。この変更に伴う前第1四半期連結累計期間の組み替え後の数値及び影響額につきましては、「I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日） 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

【関連情報】

商品分類別の売上高

(百万円)

(%)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減	増減率
	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		
ハム・ソーセージ	27,133	28,047	914	3.4
食 肉	55,729	57,496	1,766	3.2
調理加工食品ほか	24,927	23,082	△ 1,845	△ 7.4
合 計	107,791	108,626	835	0.8

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。